

# 若年性認知症支援ネットワーク会議・セミナー

## ◎参加者 32名

参加者団体 21団体（医療 6 行政 7 家族会 3 雇用・就業 2 その他 3）

## ◎活動内容

### ○本事業について説明

県担当者より、平成28年度香川県若年性認知症実態把握調査の資料を元に事業の説明を行った。そして、本事業を平成30年1月1日よりいわき病院に委託し、運用していくことを周知した。



### ○自己紹介・意見交換

5つのグループに分かれ、自己紹介を行った。若年性認知症の方やその家族に対して関わったことがあるか、支援・関わり、地域資源の課題等を意見交換した。

- ・若年性認知症の方やその家族に関わったことがあるかについては、  
あり 14名 なし 9名 未記入・不明 9名

ありと答えた参加者からは、

- ・認知症カフェに関わったことがある
- ・相談業務のなかで相談を受けたことがある
- ・介護保険申請の手続き時に関わり、サービスに繋がったことがある
- ・元々、うつ病の家族の支援をしていた最中、その親が若年性認知症となり、うつ病の家族を含め、受容していくことに時間を要した事例があった

など、意見が出ていた。

- ・支援や見聞きしたなかで困ったこと、必要と感じた資源については、
  - ・利用できるサービスが少なく、また、発見が遅れる
  - ・経済的支援

- ・就業支援、今の職場でできる限り仕事を続けられるような支援体制が必要
- ・見守りできる町づくり

など、サービスの充実や居場所作り、就労支援に対する意見が出ていた。

#### ○若年性認知症支援セミナー

綾川町地域包括支援センター 社会福祉士 増田玲子 様より「綾川町における若年性認知症自立支援の取り組み」をテーマに講演会を実施。



地域活動である「育育広場」などの活動の報告を行った。

最後のアンケートにて、所属先の機関で、若年性認知症の方やその家族にどのような支援ができるかについては、

- ・サービスや就労支援に関する情報提供
- ・専門職としての知識や技術の提供
- ・家族会、認知症カフェの実施
- ・地域住民への理解、協同が得られるような啓発活動
- ・企業の職員向けに事業展開をしている組織なことから、個人への支援・対応は難しい
- ・「何ができるか」については、まだよく分からない。具体的にはまだ考えにくい。

など、挙げられている。